

2022年度
事業報告書

東京デザインテクノロジーセンター専門学校

1.設置学校及び設置学科

東京デザインテクノロジーセンター専門学校

工業専門課程 スーパーIT科
 IT・デザイン科

2.学生数

2022年度(2022年5月1日現在)

東京デザインテクノロジーセンター専門学校

学科名	1年	2年	3年	4年	合計
スーパーIT科 4年制	144	136	127	104	511
IT・デザイン科 3年制	106	123	98		327
計	250	259	225	104	838

3. 広報活動

ガイダンスの状況		
校内ガイダンス	66校	536名
会場ガイダンス	35会場	278名

高校訪問の状況 24校

イベントの状況

説明会・体験入学参加者数 547名

- ・2022年前半は、まだまだコロナではあったが、来校者やガイダンスも徐々に増える傾向であった。
- ・2022年春頃から夏にかけてはコロナ前と比べても来校者は戻りつつあったが、秋から年末に掛けて来校者が著しく減少したが、さらに年明けに爆発的に増加した。

入学者の状況

出願数 257 (日本人:225名 留学生:32名)
 入学数 237 (日本人:209名 留学生:28名)

※日本人入学者数昨年対比 -20名、留学生入学者数昨年対比 +13名。

4. 教育活動

中途退学

	1年	DO数	DO率	全学年	DO数	DO率
日本人	234	16	6.8%	715	33	4.6%
留学生	16	1	6.3%	123	6	4.9%
計	250	17	6.8%	838	39	4.7%

反省点

1年生に関しては、日本人6.8% (16名)、留学生6.3% (1名)、1年生全体で6.8% (17名)という結果となった。数字の結果としては昨年度程度であったが、目標達成のために、更に学生満足に取り組む必要性を感じている。主な退学原因としては精神的病気や体調不良などメンタルに関わるものに起因し、授業への参加が困難になったり、対面授業も増えたため電車に乗ることや人と関わるため通学することが難しくなり、学業を続けていくことが出来ないというケースもあった。また休学や学業不振のため留年したが結果として続けることが出来ず退学に至るケースもあった。また、全学年では退学率4.7%という結果となり、昨年度より少し退学率が上がっている。主な理由にはメンタルに関するものが多いが、コロナに起因した家庭の経済的困難から学業を継続することが難しくなった者や、何とか進級できたが学ぶ意欲が下がってしまい続けることが出来ない者、また昨年度はなかった持病による死亡が2名出たのが特徴である。将来の夢の実現や、卒業や就職する意義をしっかりと伝え、複雑化している学生一人ひとりの状況を把握して早期に対応が必要だと痛感した。

改善点

入学前教育を充実させ、精神的病気や学習に問題を抱える学生(不登校経験者、通信制サポート校出身者など)が授業についていけず、出席率が低下し学ぶ気持ちを持ち続けることが出来ないケースを減らす対策を強化している。それにより個々の学習に対する意欲や学力、学習習慣が把握でき、早い時期で躓かないように対応している。また精神的問題を抱え引きこもってしまう場合もあり、SSCカウンセラーや保護者の協力を得、また家庭訪問なども継続して対応していきたい。

■ 入学前教育を充実させ、授業に躓かない対策を強化する

専門的な授業についていけず、勉強を諦めてしまうケースもあるため、入学前教育を充実させ、基礎科目はレベルに合わせたクラス編成にし、学習内容もスモールステップで理解が深まるようにする。

■ カリキュラムの見直しと講師との連携強化

授業を担当する講師に学生の現状をしっかりと共有し、特に専門授業に対して苦手意識を持たないように、授業内容やカリキュラムを見直す。また連携を強化するために、講師会や勉強会、授業報告書などをさらに徹底し連携を強化する。

■ 担任力の強化、カウンセリングマインドの向上

複雑化する学生の状況をいち早くキャッチアップするために、教務担任のカウンセリング力や傾聴力など担任力を強化するために、勉強会や研修を実施する。特にメンタルに問題を抱える学生が増えているため、早期に発見し、専門家、保護者に協力してもらう体制を作る。また学校生活に合理的配慮が必要な場合は、専門家の指示を受けながら、授業担当の講師とも連携し対応していく。

■ 高いレベルの産学連携ゼミや国内外ブランド企業とのプロジェクト実施

さらに高いレベルの授業を求める学生に向けた、ナショナルブランド企業との産学連携企業プロジェクトを数多く実施して、業界に必要とされる創造力を身に付ける。また道具として使える英語力を身に付けるために、少人数での英語授業が受けられるクラスを開講。TOEIC700点を目標に取り組む。

5. 就職活動

新型コロナウイルス感染症の影響で、学内での企業説明会は全てオンラインでの開催にした。

学内で行った対面での作品発表会にも企業様が多く来校していただき、そこからの内定もあった。

就職対策授業はTeamsでのオンライン開講とし、チャットで個別対応を行うことで企業からの求人にも迅速な対応ができた。

学生数の増加と共に多様な学生も増え、就労移行支援事業所と連動してのサポートも行った。

就職総括

- IT系求人は早期で終了も多かった。ゲーム・CG・アニメも増加、ゲームの2DはUIがメインになってきた。
- インターンシップもオンラインが主流。エンジニア系は入社後もオンラインが多かった。
- エンジニアのリモートワークが多いため、オフィス規模を縮小する企業も多かった。
- オンライン説明会・一次面接、最終面接は対面が主流。一部企業では最終面接まで全てオンラインの場合もあった。
- 留学生は自国での就職活動が卒業後のため、最初から特定活動を考える学生が多い。
- 早期より活動する学生が増えた反面、なかなか動かない学生も増えたので、より細かいサポートが必要になった。

	卒業年次在籍者	就職希望者	内定者	内定率
日本人	157	120	111	92.5%
留学生	44	16	16	100.0%
全体	201	136	127	93.4%

進学3名/起業1名/休学2名/帰国5名/特定活動17名

6.海外実学研修

(1)実施期間

実施なし

(2)研修先

(3)内容

(4)参加者数

(5)参加者内訳

海外研修 参加率		
1年	スーパーIT科(ゲーム系)	
	スーパーIT科(IT・ロボット系)	
	スーパーIT科(CG・デザイン系)	
	IT・デザイン科(ゲーム系)	
	IT・デザイン科(IT・ロボット系)	
	IT・デザイン科(CG・デザイン系)	
計		

7 式典

2022年度に行った入学式・卒業式についてご報告いたします。

入学式

○ 日 時	2022年 4月 12日	
場 所	東京国際フォーラム	
出席者	新入生	244名 (TECH.C.新入生)
(視聴)	来賓関係	名
	講師	名
	保護者	名
	その他(関連企業及び新卒採用予定者)	名
	合計	名

内 容 TCA・TSM・TSM渋谷・FC Tokyo・DA Tokyo・TECH.C.・東京アニメ・TCAECO・THLの入学式としてCOM東京9校合同で行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から新入生のみの列席で実施。保護者様や講師の方々にはオンライン配信にて視聴頂きました。新入生にとっては第1回目の授業として1部では式典形式、2部では下記のプレゼンテーションを行いました。

□東京コミュニケーションアート専門学校 TCA CREATIVE
・PH PARIS JAPON株式会社
「これからのピエール・エルメプロモーションコンテンツ・デザイン提案」プロジェクト

□東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校 TSM
・イー・エヌ株式会社
AI楽曲制作プロジェクト

□東京ホテル・ウェディング&IR専門学校 THL
・株式会社KEN OKUYAMA DESIGN 山形南陽市 企業プロジェクト
「山形の新しいリゾート地で体験する感動をデザインする」

□TCA東京ECO動物海洋専門学校 TOKYO ECO
・ドルフィン・パフォーマンス

□東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 TSM渋谷
・Cycling'74 Maxプログラミング&LEDモーションパフォーマンスプロジェクト

□東京アニメ・声優&eスポーツ専門学校 東京アニメ
・「AFTER 6 LEAGUE (社会人e-sportsリーグ)」
大会制作&実況ライブ配信プロジェクト

□東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校 DA TOKYO
・plusplus株式会社 ダンス×テクノロジー
東京オリンピックオンライン壮行会 パフォーマープロジェクト

□東京俳優・映画&放送専門学校 FC TOKYO
・「劇団四季エンターテインメントの道」

□東京デザインテクノロジーセンター専門学校 TECH.C.
・日本マイクロソフト株式会社企業プロジェクト
Azure Kinect+LEDモニターを使った体感型潜入アクションゲーム制作

□SCREEN MUSIC LIVE

□TSMゴスペルアンサンブル紹介「You Raise Me Up」

以上のような式典が行われ、総長、名誉学校長、校長からの挨拶をはじめ業界からのメッセージを賜り、第一回目の授業として在校生プレゼンテーションが行われました。新入生は2年後、3年後、4年後の自分自身の目標がより明確になったことで、本格的な授業へ向け夢を膨らませていました。又、式典終了後、オンライン配信にて視聴されている保護者様に向けて保護者会を開催し、総長始め各校責任者より改めてご挨拶申し上げたことにより、学校の姿勢に対する信頼感がより増しました。

卒業式

日 時	2023年 3月 17日	
場 所	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	
出席者	卒業生	191名 (TECH.C.卒業生)
	来賓関係	0名
	講師	0名
	保護者	101名 (内留学生保護者 8名)
	合計	0名

内 容 TCA・TSM・TSM渋谷・FC Tokyo・DA Tokyo・TECH.C.・東京アニメ・TCAECO・THLの卒業式としてCOM東京9校合同で行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で前年度までは卒業生のための列席で実施したが、今回の卒業式から保護者様方にも列席いただいた。講師の方々はオンライン配信にて視聴頂いた。証書授与はホテルの会場を分散し学校ごとで行われました。

8 総務・法務・リスクマネジメント

総務

- 勤怠システムが導入され「適正な勤怠管理」を徹底し、過重勤務や時間外労働の減少等、働き方の見直しにつながりました。
- 人事データベースが導入され、人事情報とあわせキャリア情報の変更・追加をリアルタイムで行うことができるようになりました。
- スタッフ立替金やイベント等の学生アルバイト代のキャッシュレス化を進めることにより、業務効率化と現金取扱いによる事故防止を図りました。
- 「救急訓練」を実施するにあたり救急の知識と技術を持った訓練をコーディネートする人材を育成するための「救急コーディネート講習」が実施されました。
- 予算申請システムを導入し、システム上での申請書作成によるペーパーレス化、予算申請フローの迅速化、可視化された予算管理ができるようになり業務効率が上がりました。
- 進路変更委員会、キャリアアドバイザーとの連携により滋慶学園グループ力を活かした学生のサポートシステムが構築され、学生の進路変更支援が進められました。
- 就業規則の「年次有給休暇・特別休暇に関する規定」「給与規定」に関する項目を一部改正しました。
- 昨年に引き続き、全スタッフがクールビズ・空調温度設定・ペーパーレス、節電啓発ポスターを掲示する等して省エネルギー節電へ取り組みました。
- キャリア採用の募集及び契約内容を抜本的に見直し、安定・効率的な採用に結びました。
- 労働衛生管理を推進する為、衛生管理者・産業医を選任するための組織体制を整え、安全衛生委員会を開催しました。

法務

- 労働安全衛生法の規定に基づき、教職員のストレスチェックが実施されました。
- 改正労働派遣法施行に向けて、派遣労働者の就業状況を確認し同一賃金同一労働に備えました。
- 障がい者の法定雇用率引上げに伴い、障がい者雇用の準備・促進につとめました。
- 地域別最低賃金改定に伴い、アルバイト等の時給額見直しを行いました。
- 自己点検・自己評価のための専門学校評価基準による自己点検・自己評価を実施し、職業実践専門課程申請に向けて学校関係者評価委員会並びに教育課程編成委員会を開催いたしました。

リスクマネジメント

- 防災マニュアルに基づき、災害発生時の対応等について教職員の役割を明確にし、学校防災体制を確立しました。
- IT・リテラシーの理解を深めるため全スタッフが理解度テストを受け、正しい知識を身につけ安全にITを利用できるように学びました。
- あらゆるケースを対象とした防災・避難訓練を実施すると共に、避難場所の誘導地図を各フロアへ掲示致しました。
- 車両管理業務のアウトソーシングによりグループ全体で統一された車両管理がなされ、安全運転意識の向上に取り組みました。
- 個人情報保護に関する研修を受講し、学校業務上で必要となる個人情報保護の知識を習得しました。
- 感染性胃炎及びインフルエンザを日々、発症状況を確認し予防・拡大防止に努めました。

1：利用者実数と述べ面接数 「実数7%増 総支援件数37%増」

COM東京全体の相談利用数実数は534名、昨年度対比26人、5%増であった学生への総支援数は9,154回、昨年度対比2,501回、37%増となった。尚、COM東京利用率平均は9.9%と滋慶グループ平均の5.0%を大きく上回

2020年度COM東京SSC利用者実績一覧

校名		1：利用者数と利用率											
		①		②		③		④		⑤		⑥	
		在籍数		利用者実数		利用率		学生総支援数		教務連携相談数		利用者実数増減	
		2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	人数	比率
1	DA東京	293	305	25	16	8.5%	5.2%	391	290	47	42	9	156%
2	FC東京	392	389	33	25	8.4%	6.4%	508	318	119	56	8	132%
3	TCACRE	1,302	###	227	216	17.4%	15.4%	5,211	3,785	726	610	11	105%
4	TCAECO	775	735	33	34	4.3%	4.6%	431	279	53	33	▲1	97%
5	TECH.C	838	794	91	90	10.9%	11.3%	1,403	977	180	186	1	101%
6	THL	133	50	5	3	3.8%	6.0%	65	15	59	1	2	167%
7	TSM	913	862	51	56	5.6%	6.5%	801	792	51	95	▲5	91%
8	TSM渋谷	381	397	23	17	6.0%	4.3%	344	197	12	12	6	135%
9	東京アニメ	364	414	46	51	12.6%	12.3%	717	1,183	106	210	▲5	90%
10	合計	5,391	###	534	508	9.9%	9.5%	9,871	7,836	1,353	1,245	26	105%

2：相談内容分類 「精神疾患・発達障害が52%越え」

相談内容分類では精神疾患・発達症が平均52%を超えており、半数以上が疾患や発達症というハンディを抱えている症状や特性と学校生活を折り合いをつくような支援が必要な学生の増加が窺える。

2020年度COM東京SSC利用者相談内容一覧

校名		2：相談内容分類											
		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
		学業		生活全般		既往歴		精神疾患/発達症		キャリア		要検討合理的配慮	
		2022		2022		2022		2022		2022		2022	
1	DA東京	9	36.0	14	56.0	12	48.0	7	28.0	3	12.0	5	20.0
2	FC東京	23	69.7	24	72.7	14	42.4	12	36.4	13	39.4	2	6.1
3	TCACRE	149	65.6	159	70.0	128	56.4	131	57.7	101	44.5	41	18.1
4	TCAECO	21	63.6	21	63.6	18	54.6	13	39.4	6	18.2	2	6.1
5	TECH.C	63	69.2	82	90.1	74	81.3	58	63.7	62	68.1	37	40.7
6	THL	3	60.0	3	60.0	1	20.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0
7	TSM	30	58.8	38	74.5	18	35.3	22	43.1	11	21.6	3	5.9
8	TSM渋谷	10	43.5	15	65.2	11	47.8	13	56.5	2	8.7	2	8.7
9	東京アニメ	22	47.8	32	69.6	21	45.7	19	41.3	12	26.1	1	2.2
10	合計	330	###	388	###	297	55.6%	277	51.9%	211	39.5%	93	17.4%